



Sapporo Gakuin University

# 学園広報

2002. 12. 10 No.83

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

電話 (011) 386-8111

http://www.sgu.ac.jp

## 社会人に照準の新大学院 (設置認可申請中)

# 「地域社会マネジメント研究科」

## 近く設置認可の見通し

本学は、明年四月、大学院に新しく地域社会マネジメント研究科修士課程(入学定員十五名)を開設するため、文部科学大臣に対して設置認可申請を行いました。

本研究科は、ビジネスリーダーやNPOリーダー或いは起業家や会計・税務のスペシャリストを目指す方々等、主

### 様々な分野で活躍する社会人が対象

本研究科は特定の基礎学部を有しない独立研究科で、学問分野や専門領域にこだわらない実践的カリキュラムで構成されています。したがって経

### 社会連携センターを活用

授業は、できる限り土曜及び夜間を利用するほか、短期集中で社会人の利便を考慮した開講形態を取り入れる予定です。さらに授業を行う場所については、札幌市大通りにある社会連携センターをサテライト教室として活用するなど、社会人の通学に対して便宜を図りました。



演習室 (5階)

### 科目等履修制度の活用

院生として入学するほか、に、科目等履修生として本研究科が開講する科目の一部を履修することも可能です。この科目等履修生として付与された単位は、将来、本研究科

### 多彩な講師陣

社会人に必要な現場の即戦力と広い視野、高度な専門知識が身につくよう、非常勤講



本学1号館演習室 (1階)

### 奨学金制度の充実

日本育英会等学外の奨学金制度に加えて、本学独自の奨



社会連携センタービル

地方の時代といわれて久しい昨今、豊かな創造力・企画力・実践力で地域開発を担う人材へのニーズはますます高まっています。本研究科は、北海道という地域の特質と可能性を見極め、新たな手法と視点に基づく創造的且つ総合的なマネジメント能力を持った高度専門

# 過去最高の1,539人 オープンキャンパス

夏(7/31) 秋(10/5)

今年で15年目を迎える本学「オープンキャンパス」が7月31日及び10月5日に50年記念館G館を中心に開催されました。この「オープンキャンパス」は、近年、高校生の間でも志望校決定のための大きなイベントとして定着し、大学の雰囲気を感じ取る絶好の機会とされています。本学でも全学的な重要イベントとして、関係各位の協力と広報活動により毎年充実させてきました。

その成果もあつてか、今年も夏と秋での開催でしたが、過去15年間で最多となる1539名(夏844名、秋695名)の高校生・保護者・教員等を迎えることができました。参加者の内訳は、石狩圏を中心に、道内は、旭川、帯広、函館、釧路、北見などの地方からも多数参加されたほか、道外では、東北をはじめ東京、大阪、福岡などの遠方からも参加されました。今年の実施内容は、毎回好評の「ミニ講義」をはじめ、入試内容や就職状況など、さまざまな疑問に答える「個別相談会」、更には「キャンパスツアー」、「アラブ見学」、「体験学習」のほか、大人気の「無料学食体験」などを実施しました。

全体的に見ると、やはり「ミニ講義」(夏開催のミニ講義「三講義」)の参加者が一番多く、実際の授業に興味・関心を持っていることが伺えました。なお、今年も「血液型で性格がわかるか?」という臨床心理学の講義に約300名の受講者が集まり、講義内容ともども大好評でした。また、「キャンパスツアー」では、図書館、エクスティンションセンター、情報処理実習室などの学内施設を在学生が案内し、それぞれの担当者が説明しましたが、中でも蔵書数の多さやAVブース、コンピュータなど、設備が充実している図書館の凄さに驚いていたようです。このほか、個別相談会では、入試のポイントやポスター、また入試内容や就職状況など、さまざまな疑問に答える「個別相談会」、更には「キャンパスツアー」、「アラブ見学」、「体験学習」のほか、大人気の「無料学食体験」などを実施しました。

参加者の感想としては、「実際に見たり聞いたりして大学の雰囲気がわかり参加して良かった」、「早く入学して実際の授業を受けたい」という好意的な意見が非常に多く、本学の良い雰囲気が伝わったと思う反面「オープンキャンパス」の重要性を再認識したところです。また、「在学生や教職員の方が親切に対応してくれて嬉しかった」という声も多く、この点は、本学のセールスポイントとして、より一層浸透させてゆきたいと感じています。

今後は、各学科の内容・特色がよりPR出来るような企画を検討し、更に多くの高校生を迎えられるような「オープンキャンパス」を開催したいと考えています。

時間	対象学科	テーマ(内容)
1講時	商学科	商学科の二つの特色ある実習科目
	社会情報学科	3DCGで表現する自分の世界
	法律学科	悪徳商法にひっかからないために
2講時	人間科学科	社会福祉と人間科学
	経済学科	「バブル」経済にみる日本経済
3講時	英語英米文学科	英語コミュニケーションと国際交流
	全学科	文章書きは学べる技術
	臨床心理学科	血液型で性格がわかるか
4講時	法律学科	札幌四からの臓器移植—善法と悪法の成立—
	商学科	ディズニースーツの経営戦略
5講時	全学科	文章書きは学べる技術
	人間科学科	道徳から探る北海道
6講時	社会情報学科	戦争とメディア—メディアの役割を考える—
	英語英米文学科	なぜ英語を学ぶのですか?
7講時	臨床心理学科	こころの病をどう理解するか
	経済学科	「お金」について考える



大人気のミニ講座



全体説明会 (G館ホール) での風景



個別相談会 (入試相談コーナー) で質疑する高校生と入試委員



四月十二日に画家の小牧真緒さんから寄贈された絵画「富貴花」は応接室(3号館)に懸けられて、来客の目を惹きつけています。小牧真緒さん(本名・駒木真理江)さんは、本学の前身である札幌文専「富貴花」を寄贈されました。

## 応接室に 寄贈の「富貴花」

門学院および札幌短期大学の専任教員であった駒木之雄先生の息女で、札幌三越ギャラリーで個展「小牧真緒油絵展」花々との語らい」を開催した機会に本学を訪れ、「富貴花」を寄贈されました。

### 留研先 イギリス ロンドン大学及び

人文学部助教授 菅原秀一



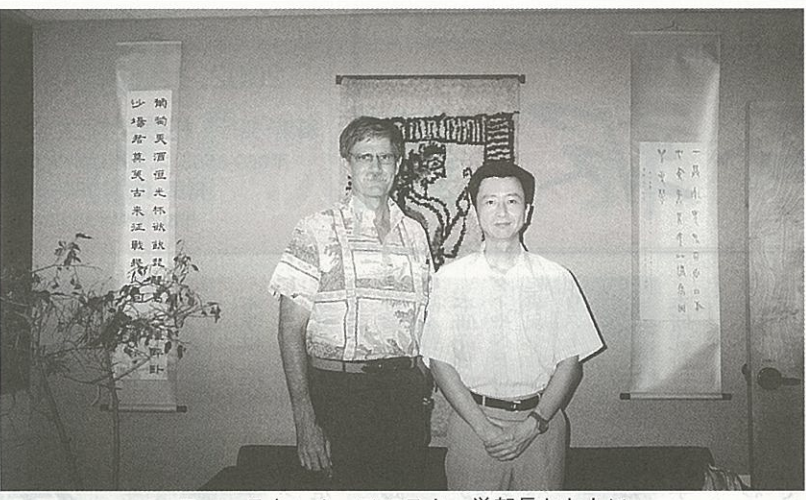
九月三十日、一年間のイギリスでの海外留研を終えて、帰国いたしました。今回は、二度目の長期留研ということもあり、楽しく充実した研修生活を過ごすことができました。このような機会を与えてくださったことに、この場を借りて、感謝の意を表したいと思います。

さて、今回は最初の半年をレスター大学都市史研究センター、後半はロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校を研修場所を選びました。レスター大学は、一九九一年から一九九二年にかけて、ロイヤル財団の奨学生として一年間過ごした大学であり、今回の滞在中、当時の友人たちと旧交を温めることができました。また、九月にエディンバラで開催された国際都市史学会では、彼女と一緒に学会の合間をぬって、「アーサー王の座」と呼ばれる山に登り、また、学会中毎晩彼女と杯(グラス?)を重ねたのも楽しい思い出です。その他にも、ロイヤル・ホロウェイ校の学位記授与式に参加させてもらい、イギリスらしい儀式を満喫することができました。写真はその時に写したもので、教授は出身校(LSE)の博士のガウンを着ています。出身校と学位記によってガウンの色や形が違うのだそうです。楽しい思い出は尽きませんが、リサーチのほうもほぼ予定通り進めることができ

ました。その成果は今後の研究・教育に生かしていきたいと考えております。

### 留研先 ハワイ大学

法学部教授 由喜門眞治



ロー・スクール フォスター学部長とともに

できました。そこで、この度は表題とは少し離れますが、UHHSを紹介したいと思います。UHHSの正式の名称は、設立に貢献された元州最高裁長官に因んだものです。ご存知のようにハワイは、多民族からなっている州です。特に、わが国からの移民が多いことで知られ、NHKのテレビ小説「あぐり」のヒロインは日系四世という設定でした。そして、このUHHSにも多くの日系アメリカ人が学んでいました。

ロー・スクールは、大学の学部を卒業した法曹をめざす人々が三年間法律と、その実務を習得する場です。UHHSでは、二十代から六十代の人々が学んでいました。講義は、問答式の講義と訴訟実務に関するものがあります。学生は観客のような気持ちで講義を受けることは許されず、いつも予習、それも簡単にでき

る。今回の滞在中、当時の友人たちと旧交を温めることができました。また、九月にエディンバラで開催された国際都市史学会では、彼女と一緒に学会の合間をぬって、「アーサー王の座」と呼ばれる山に登り、また、学会中毎晩彼女と杯(グラス?)を重ねたのも楽しい思い出です。その他にも、ロイヤル・ホロウェイ校の学位記授与式に参加させてもらい、イギリスらしい儀式を満喫することができました。写真はその時に写したもので、教授は出身校(LSE)の博士のガウンを着ています。出身校と学位記によってガウンの色や形が違うのだそうです。楽しい思い出は尽きませんが、リサーチのほうもほぼ予定通り進めることができ

## ¡ Viva, México! 「独立」の熱き想いを

# 1年間の海外生活を終えて

九月十六日は、メキシコ(本来の国名は西語のメヒコ。メキシコは英語読み)の独立記念日である。この日、国中が沸き立ち独立を祝う。一八二一年九月十六日の未明、イタルゴ神父がドローレスの地で独立を叫び鐘を打ち鳴らした。かくして、独立への戦いが開始され、一八二二年八月独立を達成したのだ。

前日十五日の夜、この国は興奮の坩堝となる。とくにメキシコ市のソカロ(国立宮殿前の広大な中央広場)は、その象徴と化す。周辺の地下鉄駅は閉鎖され、どの道も露店と人でごった返す。

すでに広場は市民で埋め尽くされており、スプレーや小麦粉をかけあう若者たちの歓声が上がる。周囲に林立するビルに輝くイルミネーションが、暗闇を彩る。

十二時丁度、国立宮殿のバルコニーに登場した大統領が鐘を打ち鳴らし、「ビバ・メヒコ! 独立万歳!」とドローレスの叫びを再現する。このセレモニーも最高潮に達する。人々は、感動と誇りに満ちて、「ビバ!」(万歳)を唱和し、無数の火花が夜空に打ち上げられるのだ。

この夜のソカロは、興奮した大群衆で非常に危険である。私は、この模様をテレビで見ただけ、部屋(七階)のベランダから、この火花に心を奪われながら、わが日本を想った。

翌十六日の記念日には、軍事パレードが行われる。これがまたすごい人だかり。巨大な国旗を掲げた旗手を先頭に、近代的重装備の国軍の隊列が、アンヘル(独立記念塔)のそびえるレフォルマ(改革)大通りを堂々と行進する様

### 留研先 メキシコ国立自治大学

経済学部教授 高懸雄治

は、国威高揚そのものである。だが、この軍事パレード、他国とは少々趣が異なるように見える。まず先頭には、独立戦争時の各地の民兵や騎兵隊などの隊列が、当時の装いで登場する。また、最後尾では、ソープレロ姿で正装した老若男女と子供たちの騎馬隊列が続く。とくに、若い女性たちが馬上から笑みを振りまく華やかさは、さすがにメキシコといったらよい。(写真)

こうした大行進が一時間近くも続く。沿道の両側に溢れた人々が、拍手やクラッカーを鳴らし、「ビバ!」と歓呼する。私達外国人までが興奮してしまふ、見事な演出であった。

この国では、国歌・国旗が何かにつけ国民生活と一体化

### 留研先 イギリス レディング大学

商学部助教授 北林雅志

もった。議題はニューバリー・パース間に運河を開削し、もって、ケネット・エイボンの両河川をつなぐという。この試みの意図するところは、内陸水運によるプリストル・ロンドン間の結合であった。一七九四年四月ケネット・エイボン運河法案が議院を通過、同年十月巨額の資金と多大な努力を要する一大事業が始められた。十八世紀後半から十九世紀初頭はいわゆる産業革命の時代として特徴付けられているが、この時代の輸送を支えたのは、地域の実業家達によって建設された運河であった。ケネット・エイボンはこの時代を代表する運河の一つである。しかしこの運河の時代は長くは続かなかった。鉄道時代の開幕である。一八四〇年過去最高の収益を計上したケネット・エイボンは、翌一八四一年The Great Western Railwayがロンドン・プリストル間に蒸気機関車を走らせると

急激にその収益は減少していき、通常、鉄道の出現により運河は衰退、その姿を消すものと思われるのであるが、イギリスの歴史はそのようには進まなかった。鉄道会社の設立を認めた議会は、鉄道会社に既存の運河を引き継ぎ、維持管理することを義務付けたのである。その結果一八七七年を境に運河経営は赤字に転落するが、運河そのものは二十世紀まで生き延びる事になる。レディングを代表する企業であったビスケット会社ハントレー&パーマーも運河沿いに工場を建設し、燃料である石炭輸送、また製品積出しにもこの運河を大いに利用したものである。しかし再び危機が訪れる。一九四八年鉄道の国有化である。鉄道が国有化されるとともに、運河はThe Docks & Inland Waterways Executiveの管理下におかれ、閉鎖の決定がなされた。運河閉鎖の知らせを聞いた地域住民たちは、早速運河救済の協会の設立し運河再開に向けた運動を展開する。廃止か再開かをめぐって長期にわたる論争が続けられ、運河保存の最終的な決着を見たのは一九九〇年八月の事であった。イングランド南部のどかな田園地帯をゆったりと流れる運河、そこに浮かべられる鮮やかにペイントされたカナル・ボート。まことにイングランド的な風景ではあるが、このような風景を残していくには多大の努力がなされたことを歴史は教えてくれる。歴史的風景や町並みを残すために払われたイギリス人の努力はもろもろ多しなればならないのであるが、そのエネルギーの10%くらいを現在の鉄道で走らせる方向に向けられないのか。ヨーロッパ最悪の鉄道という汚名を一日も早く返上してもらいたいものである。(写真は運河のほぼ中間点に近いデビゼス近郊の十六ものロックが連なるケーン・ヒル)



しているようだ。小・中学校での国歌教育が義務づけられており、その歌詞も「メキシコの民よ、戦いの時がきた。剣と馬の準備をせよ。大砲の雷鳴により、大地は揺れ響くと雄々しい。

国旗もまた、独立時のスロークアン独立・宗教・統一を示す緑・白・赤の三色旗であり、中央部には、アステカの伝説に基づく国章(ワシ)が配置されている。この三色は、ケイキ料理の彩り、レストランの卓上の花など、様々な花などにアレンジされて面白。

独立記念日が近づくと(一)カ月程前、あちこちのビルの屋上から、大きく長い三色の垂れ幕が飾られ、街角では、国旗や各種グッズ(三色の小物や帽子など)が売られる。こうして、独立への想いも一気に盛り上がるのであった。

人文学部公開講座

「二十世紀の人間科学」

人文学部は、昨年度まで二十一年にわたって「北海道文化論」(文化論特殊講義A)と題して、集中講義を市民に公開して実施してきた。そして人間科学科新カリキュラムの進行に伴い、今年度からこの公開講座を「二十世紀の人間科学」(人間論特殊講義)というタイトルで再出させた。

新タイトルのもとでの第一回となった今年度の講座のテーマは「事実のゆらぎ―測定誤差から捏造まで―」である。先年世間を揺るがした「ゆらぎ」(前期旧石器)捏造問題を手掛かりに、人間科学に限らず諸科学の基礎的問題である事実認定のありかたを考察することが目的である。

講師陣には、新カリキュラムのなかで新たに設定された人間科学科「文化」領域の教員(考古学・歴史学・言語学)を核に、人文学部から哲学、社会情報学部から社会学と歴史学として学外から遺伝学と、人間研究の幅広い分野にわたる研究者が参加して編成された。全体の日程は別表のとおりである。

Table with 3 columns: 日程 (Date), 演題 (Topic), 講師 (Lecturer). It lists the schedule for the '20th Century Human Science' series from 9/2 to 9/7.

商学部公開講座

「社会起業家と地域を豊かにする」

今年度の商学部公開講座は「社会起業家と地域を豊かにする」(コミュニティ・ビジネス)というタイトルで、九月二日から七日に開催された。起業家やベンチャービジネスという用語はマスコミ等で頻りに使用されているが、社会起業家とかコミュニティ・ビジネスという用語はまだ聞き慣れないかもしれない。コミュニティ・ビジネスとは利益の追求以上に社会貢献を重視した、地域社会(コミュニティ)に密着した経済活動で、コミュニティ・ビジネスで起業する人を社会起業家と呼ぶ。同様な意味合いの言葉として市民起業家も使用される。社会起業家やコミュニティ・ビジネスの概念は一九八〇年代、欧米では行政改革が行われ、削減された行政サービスを補うために市民が自らサービスを提供することから生まれたとされる。

この公開講座は、講義の前段で河西邦人(商学部助教)によるコミュニティ・ビジネスの解説が行われ、その後、実務家にコミュニティ・ビジネスの実践を講演していただく形式で構成された。九月二日のオープニングはITによって利便性のある社会を築こうとしている中山慶一氏、九月三日はコミュニティ・ビジネスというツールで地域の情報交流を進めようとする加藤知美氏、九月四日は主婦のボランティア活動を介護事業と助け合い事業へ発展させた星川光千氏、九月五日は留辺薬町という過疎地域で新しい街づくりを支援する杉本賢二氏、九月六日は登山ガイドをしながら環境保護運動を行う横須賀邦子氏、というスモール・カンパニーやNPOを起業して、地域社会の問題解決の

中でコミュニティ・ビジネスによる雇用機会の増加や地域経済の支えに貢献して言及し、今年度の北海道の事業においてコミュニティ・ビジネス関連の事業が実施されている。行政側の動きの一方で、コミュニティ・ビジネスの主体となる市民セクターにおいてはNPOが中心となっており、介護、環境、教育、街づくりなどでコミュニティ・ビジネスを統々と生み出している。そのような状況で多少先進すぎる内容という懸念があったものの、これまで営利企業のビジネスを教育してきた商学部において、地域社会貢献という新しい視点でビジネスへ注入したコミュニティ・ビジネスを公開講座のテーマとして取り上げることになった。

後輩諸君へ

「後悔先に立つ」

「後悔先に立つ」とあるスポーツ紙に、入社志望書を出したときのことだ。その会社のエントリー方法は本社に入社志望書を持ち込み、そこで軽い面接をするというものであった。但し書きとして、関東圏以外の遠方在住者は郵送でも可であった。東京への往復交通費ははかばかにならない。私は郵送を選択した。数ある新聞社の中でも、そ



西股 俊

「自信を持ち、プラス思考で」

私は就職活動をする以前から自分がどんな仕事につきたいか、卒業後どんな自分になって行きたいかが明確だった。就職活動は会計事務所しか受けませんでした。会計事務所の求人はいくつかあり、そのため面接に慣れることができませんでした。なかなか自分の考えが上手く言葉に出来ませんでした。しかし、企業側は最後



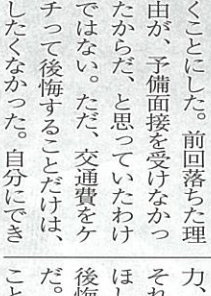
鈴木 真弓

「明確な目標を持ち、諦めずに続けること」

就職活動において大事な点は、まず、明確な目標を立てることです。自分のやりたいことや適性を考え、どういう業界、どういう会社に入りたかを決めることです。そして、次に情報収集です。溢れている情報を自分なりに整理し、すばやく収集することが大事です。活動初期の段階では、自分のやりたいことや適性がわからないかもしれないですが、とにかく動くことです。業界を絞らず、いろいろな企業を受

就職内定者からのメッセージ

これは第一志望だった。志望書にも力が入った。が、結果は書類選考で敗退。面接にすら進めなかったのは初めてだった。大きな後悔が残った。スポーツ紙のエントリー方法も全く同じだった。私は予備面接を受けるため、東京に行くことにした。前回落ちた理由が、予備面接を受けなかったからだ、と聞いていたわけではない。ただ、交通費をケチって後悔することだけは、したくなかった。自分でき



久保 真志

教職員

採用 平成十四年十月四日付 (職員) 久保 真志 教務部教務課 求めている人材像とマッチすれば、良い結果に結びつくと思います。

# 父母懇談会

## 和やかさ増す試み

今年度の父母懇談会は青森市(七月十三日・土)、函館市(七月十四日・日)、苫小牧市(七月十九日・土)の地方三カ所と本学(十月二十六日・土)で開催されました。青森、函館、苫小牧の父母懇談会では、学生との事前面談を済ませた全学教務委員を中心に、各学部教務委員、ゼミナール担当教員が父母たちとこれまでの学生の修学状況や今後の大学生活の送り方などを熱心に話し合いました。本学会場には八十六名の学生の父母二〇〇名が参加、各学部の担当教員二十四グループによる個別面談が行われました。例年、就職相談コーナーには多くの父母が訪れます。今回は二名の職員が対応しましたが、順番を待つ父母の姿が絶えることはなく、昨今の就職状況の厳しさを物語っていました。

各会場のアンケートには「どの説明も具体的でわかりやすかった」「家庭では聞けない子どもの気持ちを知り、来てよかった」「他の父母と話し合えて有意義な時間を過ごせた」「親切な対応、ありがとう」などの声が寄せられました。

ところで、従来の父母懇談会は、個別面談が終了したグループから順次それぞれのテーブルにつき、教員を交えて食事をしながら懇談する形をとっていました。しかし、当然のことながらいくつものグループが同時に面談を終了することはなく、したがって食事・懇談の開始時間がテーブルごとにまちまちでした。同じグループ内でも面談順が最後の父母は一時間あまり自分の番を待ち、逆に最初の父母は食事までの時間を持て余すなど「待つ」ことが多くの父母にとって負担になっていました。

また、従来の地方の会場では円卓を並べていましたが、席によっては説明者が背を向けるなど、決められた席での食事は緊張を強いる状況を生み、必ずしも好ましい懇談がなされるとは限らないことなどの点で懇親の形式が検討課題となっていました。



今年度、青森、函館までは今までの形を踏襲しましたが、苫小牧では円卓をスクロール形式に変え、ビュッフェを用意して、個別面談が行われている間も父母同士が自由に交流しながら食事をとれるようにしました。面談を終えた教員もビュッフェに集まって懇親の輪に加わりました。苫小牧では、じっと待っている父母の姿は見られず、自然に和やかに父母懇談会が終了した印象を受けました。この試みをもとに、来年度は本学会場での懇親会も形式を変えることを検討しています。

# 大学祭

## 今年は「秋遊祭」



今年、第32回大学祭実行委員会ではテーマを「秋遊祭」と決定しました。この「秋遊祭」という意味は、札幌学院大学の大学祭が行われる季節である「秋」と、本来の祭りの原点とも言える「遊び」という言葉を掛け合わせ、独自の大学祭を創り上げようという意味を持っているのです。

今年度の大学祭は、この「秋遊祭」のテーマのようなステージ企画と同時に幕を開けました。そして、大学祭初日のメインイベントであります、人気お笑いタレント、スピードワゴンさん・バナナマンさん・マギー審司さんの三組による、お笑いライブを開催しましたが、おかげ様で多数の来場者の方々がこのお笑いライブを楽しんでくれました。

二日目は、毎年恒例となっております「文京台なる」祭りが行われ、さらにこの日は、人気テレビ番組で活躍されている大和龍門氏をお迎えしての講演会も実施され、SGUホールが満席になる程の来場者が詰め掛けてくれました。そして大学祭を締めくくる最終日には、毎年大好評の約五〇〇人分のビール・おにぎり・おかしの無料配布をします「ビールパーティー」で、ホットドリンクを取り入れたことが来場者の方々に好評だったと聞いています。この他にも十月十二日、十三日、十四日の三日間、多種多様な企画が行われ、多数の来場者の方々に楽しんで頂き、大学祭実行委員一同大変嬉しく思っています。



第32回大学祭を終えた今、実行委員一同多くを経験したことと見えます。今回経験したことを糧に来年の「第33回」へと繋げ、札幌学院大学大学祭を大きく飛躍させてくれたら幸いと思えます。最後になりますが、第32回札幌学院大学大学祭を支えてくださった学生諸団体、大学関係者の方々、そして、文京台の皆様、大学祭実行委員会OB・OGの方々、さらに大学祭に出席して下さった皆様方に心から厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

第32回大学祭実行委員会委員長 社会情報学部三年 吉田 康彦

我々ソフトテニス部は現在三十四名の部員で活動しております。ソフトテニス部には目標と目的があり、目標は全日本制覇、目的は社会に出てからも通用する強い人間を作ることにあります。この二つをモットーに日々練習をしております。今年度の戦績と致しましては、春季全道リーグ一部団体、選手権とも優勝を全日本学生選手権決定戦に出場しましたが予選リーグ二位で敗退しました。しかし、その後の全道大対抗戦として選手権において優勝、秋季全道リーグでは団体二位となるものの選手権は優勝することができました。今年度の全日本学生選手権は北海道で開催され、

我々が「Aブロック優勝を目標に」日々練習してきました。その目標を達成することができてほしいです。これからは、Aブロックで優勝して、全国大会へ行けたらと思っています。また、個人戦のほうも好成績がおさめられるようにがんばっていきたいとおもっています。

ゴルフ部主将 商学部三年 大泉 孝文

**ソフトテニス部**

目指すは全国制覇

**映画研究会**

コッコツと映画づくり

我々が部は健闘したものの団体戦ベスト16で敗退してしまいました。目標の全国制覇には届きませんでした。悔しい気持ちを決して忘れず、チーム一丸となって来年、日本一を目指します。今度多大なご支援、ご協力関係者の皆様方、そしてご両親の皆様方への場を借りてお礼申し上げます。今後も我々ソフトテニス部一同、感謝の気持ちを忘れず日々精進致しますのでご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ソフトテニス部主将 経済学部三年 王野 敦仁

我々体育会ゴルフ部は、今年二〇〇二年に団体戦において北海道内のBブロックからAブロックに昇格することができました。

我々は、北海道学生ゴルフ連盟というところに所属しており、この連盟は北海道の大

学部のゴルフ部の大会などを主催しているところなのです。この連盟は、四、五校ずつA、B、Cと三つのブロックに、わかれています。このブロックわけは、毎年Aブロックごとに対抗戦があり、そのブロックの一位と二位のランク上の

ゴルフ部主将 商学部三年 大泉 孝文